



議員でつくる

そつべつ 議会だより



ママと考えた子育て応援住宅3棟6戸完成



キッチンから部屋全体を見渡せる



収納スペースが多い



子どもの成長に合わせ部屋を分けられる(可動収納家具)

- 第1回定例会のあらまし 2
- 一般質問 4
- 予算審査特別委員会 8
- 薫風 18

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会

(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

No. 57

■2015年4月■

定例会のあらまし

議案審議

子育て応援住宅完成！ 定住促進に期待！

平成27年第1回定例会は、3月5日から13日までの9日間の会期で開催されました。4名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。平成27年度壮瞥町一般会計予算のほか、議案27件、諮問1件、発議案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第1回定例会

ママと考えた子育て応援住宅設置及び管理条例の制定

質問

子育て応援住宅は、子どもが高校卒業した時点で退去することが条件となつていますが、退去後、持ち家を取得したり、公営住宅に入居したりして、引き続き町内に住んでももらえるような対応策は考えているのか。

答弁

退去予定年の1年前から退去しなければならないことを通知するが、公営住宅への住



夢呼ぶ壮瞥を踊る参加者（演芸交流会）

み替は、入居率が高いことから、そう簡単ではないと認識しており、町内に住み続けることを希望するならば、早い段階から退去後の住居について考えなければならないのが現実だと考える。

壮瞥町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の制定

質問

包括支援センターの現状の職員体制と今後の職員体制をどのように考えているのか。

答弁

現在の職員体制は、主任介

現在、作成している住生活基本計画の策定委員会において、新規団地を建設すべきとの声もあるので、その辺も踏まえて検討していきたい。

また、公営住宅だけではなく、できれば持ち家を取得して住んでもらいたいので、支援策を含めどのような方法が良いか検討していきたい。

平成26年度壮瞥町一般会計補正予算（第18号）

9124万円減額

補正後の予算総額

39億5191万4千円

ジオパーク解説板設置工事

13万円減額

質問

設置予定場所は何処だったのか。また、関係機関との協議がまとまらず設置できなかった理由は何か。

答弁

旧滝之上キャンプ場に設置予定で、内容は、通称「力岩」（湖水の下に薄く見える硬い岩盤）の説明である。

多くの人に観てもらうためには駐車スペースや散策路を整備しなければならず、そうなる環境省や森林管理所との協議が必要となり、時間を要したことにより、今年度は設置までは至らなかった。

護専門員1人と兼務の保健師0・5人の計1・5人である。現状の業務内容や、27年度からの介護保険法改正後の推移を見ながら職員体制について検討していきたい。

平成27年 第1回



壮瞥プレ冬祭り（旧役場庁舎跡地）

JAとつや湖野菜選果機 導入補助金

300万円追加

質問

補助が必要な経緯と内容は、

答弁

現状の選果機は、平成5年に設置したもので、21年が経過し、老朽化が激しく、基盤部分の故障で修繕不可能となっていた。

現在もトマトの選別を手動で行っており、導入補助の要望を受け、緊急な対応が必要と判断した。

総額680万円のうち300万円を補助する。

経営体育成支援事業補助金

340万5千円追加

質問

補助の内容は。

答弁

人・農地プランに位置付けられた中心的経営体の経営発展を支援する目的の融資主体型の補助金で、農業機械等を購入する際に、金融機関からの融資額が総事業費の5割以上になる場合に、総事業費の3割を補助するものである。

民間大規模建築物耐震 診断事業補助金

1173万8千円減額

質問

当初予定していた額の半分弱が執行残となっている理由は、

答弁

当初は国の定められた単価で計上したが、補助を受けた民間会社が業務を発注し、契約した金額を基に減額している。

質問

平成25年度に大規模施設の耐震診断の義務化と耐震結果の公表をしなければならぬことになったが、今後の耐震結果の取扱いはどのようになるのか。

また、もし、対象物件に耐震性がないと判断された場合

の町としての対応は。

答弁

耐震結果は、事業者が直接北海道に報告することになる。耐震性がないと判断され、事業者が改修すると判断した場合には、道で補助制度を検討しており、その動向と近隣自治体の動向も踏まえて、町の対応を検討していきたい。

壮瞥温泉団地屋根葺替・ 外壁塗装工事

1075万2千円追加

質問

対象号棟と建設年次、今までの塗装の有無は。また、一般的な葺替・塗装時期はどのくらいか。

答弁

対象棟は3号棟（1棟8戸）で、平成9年8月から入居開始しており、今まで、塗り替え等は行っておらず約18年経過している。

一般的な塗装時期としては、10年から15年程度ではあるが、公営住宅長寿命化計画に基づいて塗り替えを行っている。

町内に公営住宅が13団地あるので、塗装の時期に多少のずれは生じるものと認識している。

平成26年度壮瞥町一般会計補正予算（第20号）

4655万6千円追加

補正後の予算総額

40億572万円

地方創生に係る先行型の交付金で、地方の積極的な取組を支援する自由度の高い交付金を国の26年度補正予算で先行的に創設された。そのため26年度予算に計上し、27年度に繰り越して、事業を実施する。

以下、主な実施予定事業

持ち家住宅取得奨励金
（交付金含む）

400万円

移住交流情報サイト製作委託料

150万円

空き家改修・整理補助金

100万円

福祉灯油購入扶助費

270万円

新規就農者及び就農後継者
就農助成金

200万円

商工業活性化事業補助金

550万円

プレミアム商品券事業補助金

720万円

質問

Q & A

【堆肥センターの運営について】

Q 今後の堆肥製造の取組は

A 堆肥製造1120トの販売800トが目標



高井 一英

議員 生ごみ汚泥堆肥の製造にかかる経費負担をどう評価するのか。

町長 本来ならば生ごみはごみ焼却施設への搬入による経費が、汚泥は最終処分場への処理経

費などがかかるが、堆肥センターでの資源化により経費が発生しないこととなり、堆肥センター建設当初からの理念である地域内循環の成果であった認識し

ている。

以前から課題となっていた堆肥センターの運営収支差の改善は、この地域内循環による副産物の資源化の影響も評価した上で、今後でもできるだけ経費節減し、運営していきたい。

議員

今後、製造アドバイザーの施肥指導を受けている生産者の指導と新たに堆肥を使用する生産者の指導はどのように考えているのか。

経済環境課長

農業者が堆肥センターの堆肥を活用し、自ら分析して新たに堆肥を使用する方へ施肥設計のアドバイスをするのが農業所得向上の第一歩と考えている。

平成27年度は4回アドバイザーの施肥指導を受けることとなっている。

堆肥センターでは、土壌分析の受付、施肥設計の意見交換ができるホームページの作成に向けて、アドバイザーと協議を進めている。

議員

堆肥センターの運営については、製造アドバイザーの指導方法で2年間堆肥の製造に取り組んでおり、畜ふん堆肥は良質な生産を行うことができていると思うが、今後の堆肥製造の取組は。

また、現状の堆肥製造量と販売量及び今後の堆肥製造計画量と販売見込みは。

町長

堆肥製造量は25年度からの試験製造を踏まえ、順調に製造を行っている。町内の畜ふん受入れが例年より多くなっていることもあり、本年1月末までで約1040トとなり、2年続けて1000トを達成し、販売量については1月末で572ト販

売している。

今後の堆肥製造計画量と販売見込みは、一定程度の畜ふん受入れを想定し、堆肥化率等を勘案し、1120トの製造と800トの販売ができるように体制を整えていく。

議員

生ごみ汚泥堆肥の製造には水分調整の副資材が大量に必要と思われるが、副資材の確保はどのように取り組むのか。

町長

生ごみ汚泥堆肥は、水分量が多く、副資材の投入量が畜ふん堆肥に比べ多くなっている現状を踏まえて、町営牧場の掃除刈りで発生する牧草などの確保に努めている。



カナダチーム

「高齢者がいつまでも安心して住み続けるためのまちづくり」

Q 認知症の人数と今後の対応策は

A 要介護認定申請者中男性17名、女性47名



佐藤 恣

の町への移行等、重要で難しい内容となっているので、出来ることから取り組む。

議員

第5期計画を実施して、健康教育・健康相談の実績と課題は何か。

町長

小地域ネットワーク事業や企業・団体での健康教育、特定健診未受診者への受診奨励訪問に取り組んだ。

課題は、小地域ネットワーク事業開催自治会の減少と参加者の減少がある。

議員

第6期計画での取組の重点は何か。

町長

事業への積極的な利用参加を促すため、広報活動に取り組んで、各種がん健診を継続、早期発見・早期治療に努める。

特定健診の受診結果をもとに、高血圧者の減塩と血圧管理、未受診者への訪問奨励を行う。

議員

26年度から従来の敬老会から「ふれあい昼食会」に衣替えしたが課題は何か。

町長

ふれあい昼食会は、参加者のアンケート調査によるとおおむね好評であった。

27年度は3会場から1会場で開催する計画である。

Q 高齢者のパワーを生かした行事を

議員

お膳だてされた行事への参加も一方法であるが、これからの高齢化社会において、内容や運営に高齢者のパワーを発揮できるような取組を考えることが必要ではないか。

住民福祉課長

今後、そのような方法も考えながら課題としたい。

議員

第5期・第6期計画の中に、自治会との取組があるが、第5期では自治会に対して働きかけがなかった。協働のまちづくりのためにも、働きかけが必要ではないか。

住民福祉課長

自治会に対しての働きかけについてはあまり積極的ではなかったが、機会をとらえて協力や理解を求めている。



名物の雪合戦鍋

議員 第6期高齢者保健福祉計画の特色は、認知症の取組であるが、把握している認知症の人数は。

町長

認知症の人数は1月末現在、要介護認定申請の提出者169名中、男性17名、女性47名と承知している。

議員

壮瞥町の認知症の発症率は37・8%となり、他町と比較して高いのではないかと。

認知症を正しく理解するため、認知症サポーターの養成に積極的に取り組むべきでないか。

住民福祉課長

25年度から取り組んでいるサポーター養成も4回実施し、参加者78名で、27年度も引き続き取り組む。

議員

認知症施策は、平成30年4月からの実施に向けて整備することを国が示しているが、27年度から取り組むことが必要であり、3か年計画の年度ごとの、取組計画が必要でないか。

住民福祉課長

現在はまだ具体的な年次計画を立てていないが、第6期計画では認知症施策や介護予防事業

質問

Q & A

【人口減対策(ついで)】

Q 人口減対策の基本的な考え方は

A 移住定住に向けた施策を一体的・集中的に進める



森 太郎

子育て世代の生活スタイルを確立し、本町の良好な居住環境を理解した上で、持ち家取得へとつながっていくことを期待し、持ち家住宅取得や住宅リフォームに対する支援制度等も一体的に進めるが、

今後は宅地の確保等についても検討の必要がある。

議員

人口減少対策は、自治体を取り組まなければならない最優先課題となっているが、対策を進めていく上での基本的な考え方は。

町長

人口減少は、様々な要因を背景とする構造的な問題であり、総合的対応が必要なことから、住環境整備、雇用対策、子育て支援、情報発信等の対策と、人口変動の傾向や要因、地域特性を踏まえた人口減少抑制に向けた施策展開が必要と考え、Uターンや町外からの通勤者等、子育て世代の移住定住を一体的かつ集中的に取り組む。

議員

人口増に向けての移住施策は理解するが、人口減対策としての公営住宅入居者対策も重要で

あり、老朽化公営住宅の改善対策と定住条件としての雇用対策についての考え方は。

企画調整課長

住民が暮らしやすい環境整備を目指し、進める施策全体が定住対策であり、老朽化している公営住宅は、住生活基本計画や長寿命化計画に基づき、建て替えや設備改修等の良好な環境整備を進める。

雇用対策は、農業や観光等の産業基盤強化を図り、雇用の場として安定、拡大させていく。

議員

「子育て世代向け応援住宅」建設は人口減少対策として重要な施策ではあると理解するが、次の施策につなげる具体的な方向性と問題点は。

町長

子育て応援住宅整備により、

議員

本町の優位性を高めるための独自制度についての考え方は。

町長

独自制度として住環境施策、子どもの医療費無料化、通学定期補助拡充、中学生フィナンド派遣事業などを実施しており、今後財政的裏付けを確保しつつ、効果的な施策を推進していく。

議員

中学生フィナンド派遣事業は特に好評な事業だと思うが、財政的なこともあり、平成32年度までの予定となっているが事業見直しの考えは。

生涯学習課長

全額公費負担による実施は平



昭和新山国際雪合戦 選手宣誓

成18年度出生児童までが対象だが、英語教育の中核事業として位置づけしており、事業の在り方は検討していく。

議員

移住定住を進める上では、まちの良さを住民が実感できる地域であり、地域の優位性の情報をいかに発信していくかが重要になると思うが、考え方は。

企画調整課長

特徴ある制度や経済的優位性、町民が住みやすさを実感できる地域環境づくりを進め、これらの情報を効果的に発信していく。

「地方創生への取組への考えは」

Q 小さな町・魅力・可能性を最大限に生かすべき

A 必要かつ身の丈に合った取組を町民と一緒に考え行動していく



長内 伸一

軽減として、独自の無
利子奨学金の創設と卒
業後町内に居住し就職
した場合、奨学金の一
部減免措置等の優秀な
人材確保を考えた施策
は検討できないか。

企画調整課長

独自の奨学金制度は、
定住促進計画を策定する際に検
討したが、継続して検討したい。
奨学金の減免は、福祉関係の
仕事において検討したいが、制
度運用上のリスクも考えなけれ
ばならない。

議員

町民の持つ人脈や雪合戦等の
イベントや経済活動での交流を
通じた人脈やふるさと納税によ
る人脈を壮警応援団（サポータ
ー）として活躍していただくこ
とにより、活性化や、定住につ
ながる取組は考えられないか。

企画調整課長

町内の人材だけのマンパワー
では限界があり、壮警に縁のあ
る方に応援団として支援いただ
けるのは理想的と考える。

壮警の良さを感じていただけ
る情報発信の在り方を工夫し、

サポーターを広げる努力をした
い。

議員

持ち家取得を高める政策とし
て新築住宅を建ててもらい一定
程度住んだ後、中古住宅として
買い取る制度等の導入により、
若い世代が程度の良い中古住宅
に移り住み、定住につながる施
策は研究できないか。

企画調整課長

質の良い中古住宅を提供でき
ることは魅力のあることなので
近隣の取組も含め研究したい。

議員

2つの小学校区コミュニティ
の枠で、住民と地域の在り方
を研究し、行政とともに汗を流
すことにより、噴火防災上から
も地域の均衡ある発展を促すこ
とが必要ではないか。

町長

人口減少への危機感から5か
年の定住促進計画を立てている。
当町は他の地域には無い魅力
が沢山あると認識しており情報
の発信と人づくりに力を入れ定
住につなげたい。

議員

現在、都市と地方の格差は拡
大し、地方では限界集落と呼ば
れる地域が拡大しており、当町
も人口の急激な減少が懸念され
る。国に共鳴を与える地方創生
への取組に対する考えは。

町長

地方版総合戦略を平成27年度
中にまとめるが、壮警町定住促
進・公共施設有効活用計画を策
定しており、その方向性を大き
く変えることは考えていない。

国は特に雇用に関心を置いて
いると分析しており、本町にお
いて、農業、観光という基幹産
業の生産性・競争力を高め、雇
用の維持や開発をしていく。

また、地方創生を町民みんな
で本町の将来を考える良い機会
と捉えて人口減少スピードを抑
制し、町民の生活の質を維持向



胆振西部4中学校合同演奏会(うまいものコンサート)

上させていく方策を町民ととも
に考えたい。

議員

いくつか提言したい。地方創
生を生かし、人材育成発掘の観
点から町民が大学などの高等教
育を受けるための教育費の負担

7,100万円 3億8,300万円増

道職員派遣期間 1年延長へ

■平成27年度各会計予算状況

区分	27年度	26年度	増減
一般会計	4,171,000千円	3,788,000千円	383,000千円
国民健康保険特別会計	478,000千円	472,100千円	5,900千円
後期高齢者医療特別会計	44,900千円	46,200千円	△1,300千円
介護保険特別会計	330,000千円	332,000千円	△2,000千円
簡易水道事業特別会計	149,000千円	125,800千円	23,200千円
集落排水事業特別会計	226,500千円	220,900千円	5,600千円
壮警診療所特別会計		4,800千円	△4,800千円
合計	5,399,400千円	4,989,800千円	409,600千円

第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「平成27年度壮警町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月11日から13日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、13日の本会議で可決しました。

**平成27年度予算総額
53億9940万円を可決!!**

一般会計

歳出

総務費

◆総務管理費

嘱託職員賃金

344万7千円

質問

27年度の役場全体における嘱託職員と臨時職員の人数と予算額は。また、26年度との比較は。

答弁

26年度の嘱託職員は37名で7053万1千円。臨時職員は44名で824万2千円。27年度の嘱託職員は36名で



北海道新幹線出前授業（壮警中学校）

7154万6千円。臨時職員は57名で829万5千円。

道職員派遣交流負担金

1000万円

質問

25年度から2年間の派遣期間であったが、引き続き予算計上している理由と、これまでの派遣事業内容と業務の進捗状況は。

答弁

町内用排水路の老朽実態調査と農業水利権の更新事務推進を目的として派遣要請しており、当初は2年間を予定し

一般会計予算総額は41億 前年比

人事評価制度の見直しへ

ていたが1年延長をお願いした。

業務進捗状況は、用水路整備は26年度中に「長寿命化計画」を策定し、27年度から計画に基づいた更新を行い、水利権についても年度内に完了させたい。

質問

業務内容は、技術を持った道職員でなければ解決できない問題なのか。派遣を受けている間に町職員のレベルアップにつながるっているのか。

答弁

水利権の整理は、複雑な計算を要するため相当の時間が掛かることから、道の専門職

の派遣をお願いした。今回の更新後の整理は町職員で可能と認識している。

役場庁舎空調機屋外機 点検委託料

39万4千円

質問

点検は27年度だけなのか、今後、毎年点検することになるのか。

答弁

今までは点検をしていなかったが、今後は毎年点検を行い、故障を察知してトラブルにならないようにしたい。

庁舎清掃委託料

234万4千円

質問

労務単価の高騰による予算増なのか。

答弁

労務単価は毎年国から公共単価が示され、それに基づいて、設計して



雪上運動会 (久保内小学校)

いる。

人事評価支援業務委託料

100万円

質問

委託業務内容は。

答弁

一度制度を確立しているが、専門機関に委託して制度の見直しと、実際に評価をするシートを使った具体的な評価の仕方や、人材育成につなげるための研修を行う予定。

質問

委託の目的は、人事評価の仕組みを検討し、壮瞥町に適した評価が出来るようにするためなのか、それとも評価そのものを委託するものなのか。

答弁

人事評価自体を委託するのではなく、課長職が適正な評価ができるようにすること、適正な評価の仕組みを行政組織内に浸透させるためのもの。

広報広聴業務

207万4千円

質問

まちのカレンダーも見やすくなったがもう一工夫が必要と思う。

町のホームページについてもトピックスに工夫が必要と思われるが、改善は考えていないのか。

答弁

まちのカレンダーは紙面の都合や主催団体の意向も確認し、調整しながらわかりやすい紙面としたい。

ホームページのトピックスはある程度整理をしているが、改善等も含め検討したい。

政策評価アドバイザー謝礼

12万円

質問

政策評価アドバイザーはどのような方を想定しているのか、また、今回の政策評価の要点は。

答弁

当町の政策評価システムを

4月から放送開始

更なるふれあい昼食会の内容充実を

始めたころに携わってもらったシンクタンク（政策立案・提言を主たる業務とする研究機関）に改めてお願いする。他の行政にも精通した第三者の視点から、事務内容に対する客観的評価と助言をお願いする。



昭和新山国際雪合戦

公共施設管理事業
2971万4千円

質問
平成26年度中止した久保内改善センターのホールの屋根と床の改修は、27年度で予定しているのか。

特に、床の傷みが激しいので、災害時に避難施設となる

場所でもあることから、優先的に修繕すべきではないか。

答弁
当初は、屋根の改修を行う予定であったが、床の改修と一体的にやった方が経費削減になることがわかったので、床と合わせて改修することにした。

27年度当初予算では改修費は計上していないが、地域の方々と改善センターの在り方も検討し、可能な限り早い時期に、財源を確保して対応していきたい。

防災諸費一般経費
1714万7千円

質問
コミュニティFMが平成27年度から放送開始となり、久保内に中継局を設置したことで、おおむね全町的に放送を聴くことができるが、幡溪の一部で難しい場所もあり、どのように対応するのか。

答弁
中継局は久保内に一か所設

置するが、広範囲まで行き渡るような場所に現地を確認して設置した。実際に放送が開始されてから、どこまで電波が届くのかを検証してから、中継局を設置するか、個別に対応するかを検討したい。

質問
壮瞥町内で災害が発生したときに、緊急的にFMを使って、情報を流すことは可能なのか。

答弁
具体的な協議はしていないが、緊急的な情報を流すために、各市町と消防に、割り込み装置が設置されることになるので、壮瞥町内の情報を割り込んで流すことはできると認識している。

企画費
定住促進・まちづくり推進事業
553万8千円

質問
定住促進事業として実施さ

れた、持ち家住宅取得奨励金制度について、26年度では実績に応じて減額となっているが、27年度では、持ち家取得していただくような新しい仕組みを取り入れているのか。

答弁
特に26年度からの変更はない。家を建てるということは一生に一度のことであり、補助制度ができたからといって、すぐ家を建てる人が増えるわけではないので、制度のPRを重点的に行っていきたい。

民生費
社会福祉協議会補助金
1822万9千円

質問
ふれあい昼食会は昨年から社協に移管され、地域を分割して3回行ったが、今年は1回の開催予定となることから、大勢の人が集まることが予想

され、社協の体制だけでは対

コミュニティFM

各種がん検診等の受診率向上へ

応が難しいと思われるが、事前の準備等も含め、町はどのように関わることができるのか。

【答弁】

実施に当たっては社協と協議をしながら一緒に行いたいと考えており、内容についても身の丈に合ったもので、参加者に喜ばれる事業にしていきたい。

◆老人福祉費

介護保険住宅改修拡大措置事業

50万円

【質問】

介護保険制度では住宅改修の経費を20万円まで補助され、町ではそれに加算（上限80万円・合計100万円）して、改修費用の2分の1を補助する制度があるが、利用者が少なくPR不足ではないか。今までの利用実態と、今後の進め方の考えは。

【答弁】

利用実態は25年度6件、26年度は利用者が無い状況である。

った。今後は、担当や地域包括支援センターで利用促進の強化を図りたい。



女性学級（手芸講座）

◆心身障害者福祉費

地域生活支援事業

912万6千円

【質問】

地域活動支援センター（名称ノンノ）の利用実態と、利用している方と就労支援施設を利用している方との活動内容の違いは。

また、障がい者に対する各自治体での受け入れ人数枠が定められているのか。

【答弁】

また、障がい者に対する各自治体での受け入れ人数枠が定められているのか。

地域活動支援センターは障がい者であれば誰でも利用できる施設で、趣味の創作活動や作品販売もしており、若干の賃金はもらえるものの、サロンのような要素が大きい所となっている。

就労支援施設は、実際に雇用契約を結び、本格的に賃金が支払われており、働く場を提供する施設になっている。

この就労支援施設が壮瞥町では現在3か所あり、今後利用者が増える見込みである。受け入れ枠は、障がい者福祉計画には人数想定はしているが、人数枠を定めたものではない。

衛生費

◆保健衛生費

保健衛生事業経費

609万1千円

【質問】

壮瞥診療所再開の見込みは。

【答弁】

現在、保健所には休止届け

を提出している。再開のめどはたつておらず難しい状況である。

【質問】

1次救急医療の利用実態は。また、現状で保健師の人数は足りているのか。

【答弁】

一次救急は25年10月から26年9月までの実績で、全体で3071人、当町は152人であった。

保健師は、現在、正職員4名（内1名育児休業中）、嘱託1名、計5名で、今後も現体制を維持していきたい。

各種がん検診事業経費

466万円

【質問】

実施している各種検診の受診率目標と、26年度実績は。

【答弁】

平成27年度は、特定健診の目標受診率を55%にしている。26年度の実績は次の表のとおり。

今後の利活用に期待

ゴミ減量に向け努力

検診名	対象者	受診者	受診率
結核肺がん	1220人	750人	61.48%
生活習慣病	1220人	632人	51.80%
胃がん	1139人	136人	11.94%
大腸がん	1139人	187人	16.42%
乳がん	666人	90人	13.51%
子宮がん	716人	100人	13.97%
前立腺がん	421人	69人	16.39%

質問

特定健診でエキノコックス検診をする必要があるのか。

答弁

エキノコックス検診は、5年ごとに行うことが法制化されている。

質問

火葬場及び墓地管理

143万1千円

広域連合で火葬場を室蘭市に建設する方向で協議中と思

うが、進捗状況は。

答弁

平成31年度をめどに運営できるよう調整中で、規模は火葬炉7基で総額15億円の見込みである。
整備手法、負担割りにについては協議をしている段階である。



子育て応援住宅（コティ）見学会

質問

幡浜地域地熱資源開発調査委託料

3億8880万円

幡浜地域地熱資源開発調査委託料3億8880万円（全額補助）の中に、二次利用に

活用するための調査費は含まれているのか。

答弁

平成27年度の事業は泉源掘削が主で、ジヨグメック（独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構）の助成である。

質問

二次利用調査の事業費はどの程度か。

答弁

地熱開発利用促進関連事業支援補助金で農業、観光での二次利用が考えられ、地域住民との協議や専門家による勉強会、視察等を行い、具体的な内容を今後詰め、金額を決定したい。

清掃費

塵芥処理費

8044万5千円

質問

資源ごみ処理管理

2011万7千円

廃棄物適正処理等推進審議会で、一般廃棄物処理基本計画を見直すとのことだが、その内容は。

西いぶり広域連合負担金で、メイン施設更新で、344万円増となっている理由は。

答弁

当初の計画作成時よりも人が減少していることや、現状の廃棄物の量と処理実績を踏まえ、廃棄物処理に関する目標値を審議会（年6回程度開催）において定めてもらう。広域連合負担金の増は、本年、熱分解ドラムと、高温空気過熱器のメイン設備の改修予定で、負担金の増となっている。今後の経費は減少していく予定である。

質問

町内ゴミの排出量は目標値と比べてどうか。

蟠溪地域地熱資源開発調査

堆肥センター ふるい機更新



かるやかクラブ

【答弁】
平成23年度の1人1日1300^{kg}のゴミ排出量の目標値に対し、21年度のデータでは1500^{kg}弱と高い。

さらに、小型家電のリサイクルも始まったので、改めて、廃棄物適正処理推進審議会を開催し、目標値を見直したい。

【質問】
ゴミステーションの傷みが進行しているが、再塗装し延命策をどう取るのか。

【答弁】
ゴミステーションの塗装を出来る自治会と出来ない自治

農業振興費

農林水産業費

堆肥センター運営事業

4237万8千円

【質問】
選別装置改善改修工事の内容と予算額の根拠は。

今後、機械や施設の老朽化が進み、費用増が見込まれるが、経費節減を考えるべきでないか。

【答弁】

堆肥ふるい機の一体的な身の更新を行うもので、受け入れするホッパーと搬出するベルトコンベア等を含めて経費を設定したもので、堆肥製造アドバイザーから紹介された業者の見積りにより積算した。経費節減は常に考えなければいけない。

今回は、製造能力の向上と処理量拡大のため導入する。今後も機械等の更新は発生

会もあり、審議会の課題として取り上げたい。

するが、現在使用の機械は点検等により程度が良く、また、上屋部分も状態が良いので、設備等の更新は必要最小限で対応する。

【質問】

農業振興費の中で、堆肥センター運営費用の占める割合が80%となっているが、農業振興を図ることから言えば、一般農政事業にアイデアを盛り込むべきでないか。

【答弁】

堆肥センター運営費用は、ふるい機の改修工事を盛り込んだため、大きくなった。農地費で多面的機能事業を計上しており、これは、農業振興に関わる農業者の圃場整備に対して交付するもので、農業振興につながる事業である。

【質問】

昨年から、土作り講習会に参加した農業者グループが、土壌分析器を購入し、自ら分析を行っているが、これが結

果として安定的な生産に結びつくことが重要となる。

地域内で、自前での土壌分析の仕組みや、生産物の品質安定につながる仕組みを、町としてどう展開しようとしているのか。

また、堆肥の生産量は伸びているが、販売が伸びていない状況であり、堆肥が生産向上につながり、経営にプラスと判断され、購入希望者が増えることが理想だが、さらに増産は可能か。

【答弁】

さらに、農家が購入しやすい仕組みづくりや販売方法の見直しについての考えは。

農業者自らが安定的な土壌分析の結果を得られる活動と仕組みづくりが望まれる。

そのためのサポート体制は必要であり、アドバイザーがいなくなった後の方向性について普及センターも含め、検討していく。

堆肥製造工程が短くなり、町外からの畜ふんの受け入れ

制度浸透へ

シカ被害縮小 電気柵購入補助

量も増え、堆肥製造量は上がっているが、販売量は伸びていない。

町内分では原料が足りない、それを安定的に確保し、在庫を持たないよう販売していくことが必要であり、増産も可能である。

また、良質の堆肥と言っても、買い易さに問題があり、堆肥センターが直接販売する場合の農家の支払方法についても検討していきたい。

農業生産性向上対策事業補助金

200万円

質問

農業生産性向上対策事業の内容及び今年度までの実績は。

答弁

作業効率の向上を目指す機材購入等に対して補助を行うもので、25年度実績は2件で果樹ハウスに補助、26年度は3件でハウス内の作業効率を目的した機材購入としてハウス内の灌水器や点滴器整備、

ハウス内の堆肥マニアスプレッターの整備などに補助した。27年度では、補助率や対象者について、これまでの経過を踏まえて、使いやすい補助制度になるよう検討していく。



予算審査特別委員会の様子

農地費

多面的機能支払事業

1100万円

質問

今年は参加組織が8団体で117件の農家、自治会員が参加するということだが、これは壮警全体の農振地域の何%になるか。

また、今後も参加者の増が

見込まれるか。

農振地域以外の農地でも、同じような維持作業は必要であり、これらを救済するような制度は考えられないか。

答弁

農振の農用地区域が1170畝で、その内の57%にあたる672畝が対象農地となっている。

広報等を通じ、事業実施の取組内容などを載せて、参加促進を呼び掛けており、地域の合意形成が出来れば、参加者を増やしていきたい。

また、本事業の実施は農振地域を限定した地域の事業であり、それ以外は対象とならないが、農振地域以外でも同様の活動が行われていることは承知しており、農地維持のための必要な対応について、他町村での事例等を参考に研究したい。

電気柵費

電気柵購入補助金

105万円

質問

26年度までの設置状況と、設置したことによる被害軽減状況及び27年度の設置計画は。

答弁

設置状況は24年度から26年度まで合計33名、39・3[㎡]。

被害の推移は、調査員が2月から3月にかけて実施しており、25年度2月が121件、26年3月は111件となっている。

被害額はエゾシカに限っては、25年2月が被害面積48畝で1072万2千円、26年3月は38畝で705万5千円となっており、補助の効果が表れている。

設置した農業者からの意見でも、全く侵入はないということ、設置した圃場での被害は発生していないことから、これを継続、拡大したいという意見が上がっている。27年度では5件分で1件当たり2[㎡]を予定。

定住促進事業

外国人観光客向けの対応を検討

商工費

❖ 商工費

壮瞥町商工業活性化事業補助金

550万円

質問

同事業は、商工業者の振興策として非常に有効であると考える。

平成27年度の事業実施に向けて、商工会で希望調査や周知をしているのか。

答弁

商工会では、事業者への希望調査と協議を行っている。

この事業は、建物改修等のハード面と商工会の経営指導上の有効なソフト面を持ち合わせているのが特徴である。

観光施設維持管理事業

1626万9千円

質問

昭和新山の公共トイレは、冬期間、手洗いの水が出ない所があり、外国人観光客が年々増えている現状から、い

がなものか。

設置者は北海道であるが、北海道からも、改善策を検討している話を聞いているので、観光地にふさわしい対応が必要ではないか。

答弁

町としても、改善に向けて道の担当者と協議したい。

観光振興一般

235万3千円

質問

近年は、観光客の当地域での滞在時間が短くなっている傾向にあり、滞在時間を長くしてもらうことが課題だと思いが、対策を考えているのか。

答弁

観光客入り込み数は、震災前の状況に戻ってきており、外国人観光客も過去最高となっているが、特定の場所に集中する傾向にあり、町としては、個々の事業者の集客努力を助長するような取組をしていきたい。

また、広域観光圏でのアン

ケートではこの地域は、食に

対する評価が低いので、食を目的にこの地域を訪れてもらうような取組も必要であり、奥洞爺温泉郷事業や農工商連携といった取組を進めていきたい。

質問

外国人観光客に対応した対策は考えているのか。

答弁

今は円安、格安航空会社の影響で順調に推移しているが、何もしなければブームは過ぎ去ってしまう。



壮瞥町女性の集い

外国人観光客への対応とし

て、様々な海外プロモーションを実施しているが、課題となっているのは、情報伝達手段として利用できるWiFi等のネットワーク環境がないのと外国語が話せるガイド不足があるので、それに対応した整備と継続してPRを行っていききたい。

土木費

❖ 道路橋梁費

道路橋梁維持経費

4678万8千円

質問

町道の中でロードヒーティング設置箇所は。

答弁

火山観測所線（壮瞥温泉）
・公民館線・高等学校線・星野線の4か所である。

道路新設改良費

8370万円

質問

町道菅原線の改良工事を行

応援住宅建設

統合後の久保内中学校跡地 活用策を検討

う理由は。

【答弁】

道道から公営住宅に通じる道路は、道道と町道の2路線があるが、ともに幅員が狭く交互交通が困難であり、道道の改良工事の予定がないため、町道の改良により地域住民の交通安全確保のために実施する。工事延長は260mを予定。

子育て応援住宅整備事業

1億6580万円

【質問】

子育て応援住宅建設は26年度に引き続き実施するが、先に開催された見学会の反響や評価は。

【答弁】

見学会には町外11組、町内18組が訪れた。来場者から、収納スペースや移動収納スペースによる有効的な部屋の活用、水回りの導線、台所から子どもの動きが見渡せることなどに関心と評価があった。

消防費

西胆振消防組合負担金

2億2190万4千円

【質問】

壮警消防団員の定数は75名であるが、実態は何名か。

【答弁】

団長以下63名で団員は第1分団34名、第2分団24名で定員に満たない状況であり、27年度には役場職員数名が団員として消防団活動に参加予定である。

教育費

教育総務費

【質問】

29年4月に久保内中学校が壮警中学校に統合することが決まっており、統合後の空き校舎の利活用は高校移転という案もあるがどのように進んでいるのか。

【答弁】

現在、教育委員会で検討が始まり、庁内プロジェクトチームでも協議を開始している。空き校舎は、高校移転あり

きでなく、町全体として大きな課題であり、町財政面も十分に検討し、総合的に今後の活用策を検討することが必要である。

【質問】

国が提唱するコミュニティスクール（学校運営協議会）の導入は考えているのか。

【答弁】

コミュニティスクール（学校運営協議会）とは、各学校に設置し、その中で学校経営について協議をし、地域・保護者などの声を反映させていく地域と共にある学校を目指す



壮警町プチ冬まつり

していくもの。

壮警町において、学校評価システムを導入しており、学校運営協議会と似たようなところもあるので、協議会についてもスムーズに設置できる下地があることから、検討していきたい。

高等学校費

地域農業科実習運営事業

927万円

【質問】

27年度での高校の生産物を売るアンテナショップの予定は。

【答弁】

アンテナショップは高校生の販売実習に大きな成果があり、5月中旬より生産物や加工品の販売を開始する。地域に事業周知のため、広報活動を充実したい。

【質問】

高校で「資格取得助成補助金」を支給しているが、どのような資格を取得しているか。

27年度も子育て

介護保険法改正 適切な対応を

【答弁】

学んだ技術を確かなものにし、資格取得を得ることは生徒の励みにもなることから受験料を補助し、26年度は、危険物取扱者9名、食品衛生責任者17名が資格を認定されている。



壮警町プチ冬まつり

歳入

地方消費税交付金

4400万円

【質問】

予算額を4400万円に抑えた考えと今後の見当は。

【答弁】

平成26年度は4000万円

に減額補正したが、最終実績は4209万1千円となっている。今後は、買え控えといった増税後の反動も少なくなり、消費の伸びを期待して積算している。

自動車取得税交付金

900万円

【質問】

26年度700万円から450万円に減額補正している。27年度予算額は900万円の見込みであるが、積算根拠は。

【答弁】

交付金は実際に交付されないと不明な部分があるが、消

費税が29年4月に10%に上がることから、軽自動車購入が進むことを見込んで、27年度は期待して予算計上している。

介護保険特別会計

【質問】

「高齢者保健福祉計画」の実施施策である認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チーム設置の取組とは。また、介護保険法改正に伴う対応についての考えは。

【答弁】

認知症施策の初期支援チームの人選や、支援推進委員の人材確保は難しいと認識して

おり、近隣市町村との連携も視野に入れ検討したい。

介護保険法改正により、特別養護老人ホーム入所対象は4月から原則要介護3以上となる。

現在、入所している方は引き続き入所可能だが、要介護1・2の方は新たに入所できなくなる。ただし、本人の心身の状態や生活状況等を調査した上で、市町村と施設の協議により入所が必要と判断することも可能となるので、施設と連携にして、情報共有の上

に協議を行い、本人や家族に不利益が生じないよう支援していきたい。

工事発注状況

平成26年12月から
平成27年1月までの発注分
()内は予定価格

- 滝之町地区農業集落排水ポンプ施設非常通報装置設置工事
1,209,600円(1,260,360円)
新栄クリエイト(株)
- 壮警中学校非構造部材改修工事
1,134,000円(1,155,600円)
(株)中山工務店
- 壮警中学校体育館床ライン改修工事
3,045,600円(3,110,400円)
(株)中山工務店
- 滝之町集落排水処理施設機器修繕工事
1,479,600円(1,574,640円)
水ing(株)北海道支店
- 仲洞爺集落排水処理施設機器修繕工事
3,888,000円(4,087,800円)
水ing(株)北海道支店
- 久保内集落排水処理施設機器修繕工事
3,996,000円(4,228,200円)
水ing(株)北海道支店
- 町道不動線側溝改修工事
5,778,000円(5,994,000円)
社建興業(株)
- 子育て住宅壮小西側物置等設置工事
1,620,000円(1,663,200円)
(株)中山工務店
- 子育て住宅壮中西側物置等設置工事
2,808,000円(2,872,800円)
道栄建設(株)

●雪合戦25年の絆

壮警町の皆さんとお会いしたのは平成2年の夏、札幌で山中漠さん（前町長）、堀口一夫さん（現商工会会長）、谷岡康徳さん（前副町長）の実行委員会御三方にご挨拶したのが最初です。

この時は堀口さんをモデルにした第3回昭和新山国際雪合戦のポスターを制作する広告代理店の担当でした。撮影でガチガチに緊張された堀口さんに撮影現場で指示をした記憶が残っています。



主審をしている山田さん

そんなご縁で会社のチームで雪合戦へは毎年参加し、年に数回、今はなくなった旧役場庁舎へ打合せにお伺いしたものです。歴代の雪合戦担当者の全ての皆さんとも出会うことになりました。その後、忘れもしない9回大会終了の翌日、

勤務先が、バブル崩壊の煽りで倒産してしまいました。実行委員長だった堀口さんに大変なご迷惑をおかけしたようです。

ここで雪合戦の仕事としてのつながりが断たれてしまった訳ですが、雪合戦の楽しさが忘れられず、翌年また転職先でチームを作って参加しました。会場で堀口さんから「山田、よく来たなあ」と声をかけていただいたことも大きな励みになりました。

その頃、審判資格も取得しました。講師だった阿野光弘さん（前観光協会会長・故人）には、公私ともお付き合いをいただき、今も「いい荘」が常宿です。

そして11回大会終了後のある朝突然、堀口実行委員長から電話が入ります。「お前の会社でやる気があるなら、今すぐ来い」と。

以来、雪合戦を通じて地元のみなさんとのつながりは妻も巻き込み、仕事もプライベートも私の人生の半分を占め、公募審判や運営ボランティアとして毎年、昭和新山へ参加させていただいています。

三年前に一年中雪合戦に関われるようにと会社を設立し、札幌に小さな事務所を構えました。社名は雪合戦マスコットのブラッキーから「ブラッキーの家」ブランドとしました。まだ夫婦二人だけの会社ですが雪合戦マガジンの発行など一年中、雪合戦との関わりが持てていることが何よりの幸せです。

今年も次のポスターの構想がいくつか出てきました。昨年は堀口さんの御長男、正章さんをモデルに制作しましたが、正章さんからは、「次は息子で」と早くも親子三代でのリクエストをいただいています。

編集後記

進学や就職、寒暖の差、日照時間の变化などが原因で、自律神経のバランスがくずれ、春は、体調を崩しやすく、冬の間、じつと体は寒さに耐えてがんばり続けている。その疲れが冬バテとなつて、春先にあらわれてくること。

改善するには、ビタミン・ミネラルを多く含んだ春野菜をたくさん摂り、スポーツや散歩でストレス発散することが一番良いといわれている。

春の代名詞であるサクラは、厳寒の冬に雪の下でつぼみをつけて、開花の準備をする。

暖かい日と寒い日をくり返しながら暖かくなつていくほうが、成長が早いという。サクラは温度変化の大きい春の気候にちゃんと適応して、美しい花を見せてくれる。

私たちも、普段の生活の中で創意工夫しながら、サクラのように丈夫な心と身体をつくっていききたいものです。

(K・T)